群鸟県通正化通信 NO、120(平成30年8月子)

「事業報告書及び事業実績報告書の提出」及び「原価計算シートの活用」

貨物自動車運送事業者は貨物自動車運送事業報告規則により、毎事業年度における営業 状況を報告する「事業報告書」及び前年4月1日から3月31日までの1年間の輸送実績 を報告する「事業実績報告書」を定められた期日までに提出しなければなりません。

各報告書を提出していない事業者の皆様は、早期の提出をお願いします。

事業報告書

事業報告書は、毎事業年度の経営状況を報告するものです。

提出期限は各社の決算期によって異なりますが、毎事業年度終了後100日以内に提出しなければなりません。

事業実績報告書

事業実績報告書は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間の輸送実績を報告するものです。

提出期限は決算期に係わらず、毎年7月10日までに提出しなければなりません。

- 提 出 先:主たる事務所の所在地を管轄する各運輸支局に提出
- 提出部数:2部(事業者控え含む)
- ※ 各報告書の様式はオール群馬トラックセンター協同組合で販売又は群馬県適正化事業 実施機関ホームページ(http://www.gta.or.jp/tekisei/download.html)に掲載しています。

各事業者の売上や経費について、運送原価を把握することが適正な運送取引に繋がります。利益率や費用の配分などを把握、分析することで、車両、運行ごとのコスト管理が出来るようになります。そのためには、確実な「原価計算」が必要です。(公社)全日本トラック協会では、経営実態を把握する支援ツールとして「原価計算シート」をホームページに掲載していますので、コスト管理に活用してください。併せて、(一社)群馬県トラック協会では毎年度、原価計算に関するセミナーを開催しています。原価を適正に把握し、お客様や荷主企業との価格交渉に活かしましょう。

原価計算の必要性

- 原価に見合った適正な運賃・料金の収受
- 現在の運賃・料金が適正か否かを見極め、運行の効率化、具体的対策を検討
- 利益改善のための営業収益、営業費用を踏まえたコスト削減
- 燃料高騰、高速料金等の各種費用への対応
- 経営幹部、運行管理者、運転者等に対する情報共有化による原価意識の向上

原価計算シートの活用

(公社)全日本トラック協会HP:お役立ちコンテンツ 運賃原価。com(http://運賃原価.com/)

> 不明な点は気軽に適正化指導員にお尋ね下さい。 群馬県貨物自動車運送適正化事業実施機関 電話 027-212-8821

(公社) 全日本トラック協会: 運賃原価。 c o m より (http://運賃原価。 c o m)

	運行ルー	ト別 原	価計算	シート							
(車単位、貸切の場合)											
作成日											
メモ											
最为	大緒載量		t								
車向	両の形状										
運作	〒区間		\sim								
〇 固:	定費		_								
平均	匀 所要時間①		時間<	休憩時間を含めて、所要時間を算出							
粽鱼	動1時間当たり固定要②		円下	車両別原価計算データの下段の							
	a 固定费(①×②)	0		「【実質】稼働1時間当たり固定要(実稼働時間率を反映)」から数字を転記							
〇変	動費		_								
平均	匀 走行距離②		キロメートル	車両別原価計算データの下段の							
走作	「距離1kπ当たり変動要®		⊞ ←	「【実質】走行距離1km当たり変動乗(実車率 を反映)」から数字を転記							
	b 変動費(②)×④)	0	J								
○諸	経費										

取引先別 原価計算シート

※ このシートは月単位の原価計算であるため、走行距離、稼働時間、運賃、諸経費は1か月分の実績値を入力してください

	車両番号	当該荷主との運送状況(入力)			車両別データ(入力)		計算結果		
取引先名		運賃	走行距離	稼働時間	諸経費	1km当たり 変動費	1時間当たり 固定費	運送原価	収支
								0	0
								0	0
								0	0
								0	0
								0	0
								0	0
								0	0
								0	0
								0	0
								0	0
合計		們	0.00km	0.00時間	們			0	0

備考 入力個所です。それ以外のセルには入力をしないでください。